

# ジェンダー平等社会へ 四国比例に女性衆院議員を



20日、多度津町でバイオリンとピアノの生演奏を聴きながらの「白川よう子さんの話を聞くつどい」。音楽家のみなさんも「コロナ禍で音楽教室が開かず収入減で大変」、「年金はどうなるのか」などの意見が出され、「文化・芸術活動をそのまま衰退させるわけにはいかない。力を合わせて政治を変えよう」と訴えました。



白川よう子



党創立98周年の7月15日午前、東かがわ市白鳥でつどい。午後、三木町のつどいでは、呼びかけにこたえ1人が入党を決意しました。



16日、↑松山市駅前  
豪雨災害救援募金活動。

↓桑原支部のつどい



20日、「白川よう子必勝のための SNS 対策会議」を高知、香川、東京を結んでオンラインで開催。田村一志中央宣伝局長の問題提起を受けて、SNS 選挙に関わった経験を踏まえて今後の方向性を話し合いました。



コロナ危機と豪雨災害のなか、日本共産党は7月15日に98歳の誕生日を迎えました。「国民の苦難の軽減」を立党の精神に頑張ってきた党だからこそ、国民の苦難に寄り添い活動する党員の皆さんの姿に、日本共産党ここにありと誇りを感じています。私は7月15日に入党しました。創立記念日を迎えるたびに、党の一員として社会進歩を前に進める力になりえているだろうか？襟を正し振り返る日にしています。すべての人の幸せを願いながら、自分の人生と社会進歩を重ね合わせ進んでいける人生。たった一度の人生ならばこの道を歩もうと決意した自分を褒めてやりたい気持ちになる時もあります。各地のつどいで、コロナ禍を乗り越え新しい社会を一緒につくろうと入党の呼びかけ。今週は徳島の牟岐町・阿南市・小松島市、香川の東かがわ市・三木町、愛媛県松山市の3つのつどいで訴えました。農業者の後援会活動の相談会も開かれ、農林漁業分野で力を合わせて四国の議席を勝ち取る第一歩が踏み出されました。自民党の中谷元衆院議員（高知1区）が宿毛市長らとともに、河野太郎防衛大臣に自衛隊の宿毛市への誘致を要望、オスプレイの配備まで提言したとの報道。この間、四国の空で低空飛行を繰り返す米軍機に悩まされ続けている住民の思いがわからないのか！この声を届ける議席が必要です。

よう子記

\*\*\*\*\*